

平成29年度 消防本部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
各種災害から住民の生命、身体及び財産を保護し、住民と一体となって地域の消防防災力を強化していく。	1.災害対応の充実強化	・地震等で消火栓が寸断された場合でも消火活動が円滑、効率よく実施できるよう耐震性貯水槽を設置する。 ・震災時等における消防力の強化を図る。	・耐震性貯水槽整備計画に基づき設置する。 耐震性貯水槽60㎡型 1基 耐震性貯水槽設置予定場所の測量設計 1箇所	・新田辺西公園に60㎡の耐震性防火水槽1基設置完了(平成30年2月) ・多々羅公民館に設置予定の40㎡1基分の測量設計完了(平成30年1月)	A	
		・消防体制の充実強化では、新たに消防情報の迅速かつ的確な把握と高度な活用に対応した消防指令システムを導入する。	・高機能消防指令システム更新事業に基づき更新する。	・高機能消防指令システム更新事業は計画どおり3月29日完了した。		
		・北部分署に配置している高規格救急自動車を更新するなど、常備消防力の強化を図る。	・消防車両等更新整備計画に基づき更新する。	・高規格救急車を2月に更新完了するとともに、救急隊員研修を実施し消防力の強化を図った。		
		・精鋭な部隊の育成と強化を図る。	・消防救急活動に必要な教育講習等を受講し知識、技術の習得を図り、人材育成し組織強化を図る。	・消防活動技術向上に有効な28講習48名が受講し、知識の習得技術向上を図った。 ・救急活動に必要な21講習42名が受講し、救急技術・知識の習得・向上を図った。		
		・消防団積載車及び小型動力ポンプを更新し、消防団の強化を図る。	・消防団積載車・小型ポンプ更新計画に基づき更新する。	・更新計画に基づき、第3分団第4部(新興戸)及び第5分団第1部(打田)の消防団積載車及び小型動力ポンプを更新した。		

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成29年度 消防本部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	2.災害に強い市民づくり	・救命講習会等を積極的に行う。	・AEDの取り扱いを含めた上級・普通救命講習や小学生を対象とした救命入門コースを実施する。	・普通救命講習会79回1,484名、救命入門コース5回309名、救急指導(AEDの取扱いを含む)51回1,062名にそれぞれ実施した。	A	
	3.火災予防対策の推進	・住宅火災からの死傷者を未然に防止し、被害の拡大を防止する。	・住宅火災警報器の設置促進及び出火防止の啓発活動を実施する。	・市広報紙に8回掲載とホームページに常時掲載し、啓発に努めた。 ・秋の火災予防運動時に「幼年消防クラブ」と「京田辺市危険物安全協会」と合同で街頭啓発活動を実施した。 ・「一日消防長」を任命し、春の火災予防運動時に街頭啓発活動を実施した。	B	・次年度も継続して広報と各種予防運動を実施する。
		・防火対象物・危険物施設における火災予防を推進する。	・防火対象物における防火管理対策、危険物施設における安全対策の整備に関する指導及び消防関係法令の違反是正指導を推進する。	・20件の重大消防法令違反が是正された。 ・査察実施計画対象物(防火対象物と危険物施設) 799件のうち、488件の査察を実施し、適切な指導を行った。		・未実施となった計画対象物は、次年度の実施計画で優先実施対象物とし、適切な指導を行う。
		・事業所における自衛消防隊を育成・指導する。	・日常的な防火管理と災害時における活動要領等の指導を推進する。	・管内の事業所に対して避難訓練を105回9,883名、消火器の取扱い説明を95回2,223名に実施した。 ・幼稚園・保育所に対して防火指導を26回3,535名に実施した。		

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成29年度 消防本部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.消防団員の加入促進	・災害現場活動が可能となる最低人員の確保を図る。	・広報紙及び市ホームページで募集記事を掲載する。 ・各種イベント、地区の防火指導時に消防団員が主となって指導し、消防団員勧誘活動を行う。	・各自治会、区等で行われたイベントや集会で消防団員の勧誘活動を行った。 ・学生消防団員活動認証制度、消防団協力事業所表示制度を市内事業所に対し周知を図るため京田辺市商工会に協力依頼を行った。 ・学生消防団員1名、女性消防団員1名の入団があった。	B	・今後も継続して実施する。
	5.職員の意識改革	・市民に信頼される消防行政の推進を図る。	・各所属に服務リーダーを置き、服務規律を遵守する。	・職員一人ひとりが服務規律を遵守して意識改革に努めている。	A	・今後も継続して実施する。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】